

平川市のいろいろな問題など、議員が市に考えを聞くのが一般質問。

議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋して記載しています。

## 農業の担い手確保

農地や農業機械設備等の第三者承継を



かさいこうへい  
葛西厚平 議員



**議員** 農業後継者と新規就農者の現状は。また、離農に関わる市への相談件数とそのうち継承された件数は。

**答** 令和5年度のアンケート調査によるところ、市内の農業者の約75%の方に後継者がないのが現状です。また、令和6年度の相談件数は34件で、このうち耕作者に継承させることができた件数は12件です。

**議員** 市内では実際に農業をして農業法人で働いている若者たちがいる。市の現状と将来を把握し、対策を取る必要があると思うが、市の考えは。

**答** 全国的に農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化している中、農業経営を次世代へ引き継ぐ事業承継は、当市において

も重要な課題であると認識しています。優良農地の継承が図られるよう、マッチングの仕組みづくりを検討していきます。

**議員** ほとんどの農家が親族内継承をしてきたが限界もある。第三者承継も必要になり、農地や機械設備を継承できれば、行政も就農者も負担が少ない。総合戦略策定の折に考慮してほしい。

**議員** 北海道の増毛町、東川町、山形県飯豊町などは平日選挙が行われており、法律では選挙を日曜日に限ると定めてはいない。

**答** 平日選挙が行われている自治体の利点・欠点は。また、平川市長選挙と市議会議員選挙で平日選挙を行つ考えはあるか。

**議員** 選挙の投票日を平日に設定している自治体があることは承知しています。平日選挙のメリットは期日前に土日を挟むと候補者が有権者に声を届けやすいため、ほぼ業務時間内での勤務のため選挙経費の節減となります。

一方でデメリットは、投票事務には多くの人員を要し、平日に投票を実施した場合は人員の確保が懸念されます。特に、事

平日選挙で  
人件費の削減を



さいとう  
斎藤 剛 議員



務従事者につきましては、通常市職員が担っておりますが、市役所の開庁時間中に、職員のおよそ半数が各投票所において投票事務に従事することになり、市役所の業務に支障を来たすおそれがあります。

**選挙管理委員会としては、市长選挙及び市議会議員選挙を平日に実施することは、現時点では考えておりません。**

## 議会miniコラム 田舎館村議会行政視察受入れ

令和7年11月6日、田舎館村議会のみなさまが「自治体DXの取組について、共助バス運行事業について、農作物の6次産業化推進について」を視察されました。



ひらかわ市議会だより 第80号

# 一般質問

## 碇ヶ関総合支所の在り方

地域の衰退を防ぎ、  
住民の不安解消を



くどうひでいち  
工藤秀一 議員



碇ヶ関総合支所

**議員** 本庁舎に業務が集約したこと、碇ヶ関総合支所での課題解決が難しく、市民から不満の声が増えている。地域が衰退しないよう、以前のように支所に建設担当部署を設置できないか。

**答** 合併以来、事務効率化、各部署のスリム化に努める中で、支所の建設産業係を廃止しております。しかし、支所と本庁が綿密に情報共有する体制を継続し、ウェブ会議ツールを活用して支所窓口でも本庁担当職員の顔が見える環境を整備するなど、住民の皆様に対するきめ細やかな行政サービスを日指します。

**議員** 高齢化率が52%と高い碇ヶ関地域にも集落支援員※1を配置することで住民と行政と

**議員** 本庁舎に業務が集約したこと、碇ヶ関総合支所での課題解決が難しく、市民から不満の声が増えている。地域が衰退しないよう、以前のように支所に建設担当部署を設置できないか。

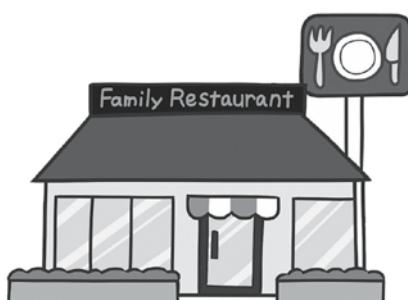
**答** 令和6年3月～4月、碇ヶ関地域に対しアンケートを実施して、年度内に人口の見通しや生活サービスの現状を整理し、地域での勉強会を計画しています。核となる地域人材の掘り起こしのため地域の方にご協力ををお願いし、早期に設立したいと考えております。

## ファミリーレストラン誘致による 地域活性化

中心市街地の  
にぎわい創出が  
重要です



かさいはやと  
葛西勇人 議員



ていないことにあると述べたが、事業者にとって将来性を感じられるかどうかが出店判断の鍵である。基本構想策定については先進自治体を視察するなど参考にし、制度や用地整備にとどまらず、にぎわい創出のために当市には全力で取り組んでもらいたい。

議員 ファミリーレストランの誘致も基本構想の中で検討していく趣旨だと理解した。私は以前の一般質問で、出店が進まない最大の要因は当市ににぎわいが感じられる中心市街地が整っ

**議員** ファミリーレストランの市内誘致について検討状況を伺う。

**答** ファミリーレストラン誘致の個別検討は行っておりませんが、飲食機能の充実は当市のにぎわいづくりにおいて重要な認識しています。今年度策定中の平賀駅周辺まちづくり基本構想を通じて、地域活性化の方向性を示し、その上でファミリーレストランを含む多様な事業者から、立地先として選ばれるまちを目指してまいります。

**議員** ファミリーレストランの誘致も基本構想の中で検討していく趣旨だと理解した。私は以前の一般質問で、出店が進まない最大の要因は当市ににぎわいが感じられる中心市街地が整っ

※1 集落支援員とは

平成20年度から総務省が始めた制度で、地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材であり、地方自治体からの委嘱を受けて集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握等を実施する。

平川市のいろいろな問題など、議員が市に考えを聞くのが一般質問。

議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋して記載しています。

## 戦後80年とJアラート訓練

過去の教訓を  
今に生かす教育を



佐藤 保 議員



Jアラート訓練

**議員** ウクライナとガザ地区でミサイルにより壊された建物が連日のように報道されている。

今年は戦後80年という節目の年、7月10日に平川市のJアラート訓練が行われた。①市を挙げて

の訓練に至った経緯、②小・中学生の訓練実施について、③戦後80年、小・中学校の戦争の歴史教育について伺う。

**答** 当市のJアラート訓練は、令和4年10月に弾道ミサイルが青森県上空を通過したこと、不安定な世界情勢が報道されることなどから実施に至りました。参加していた近隣住民や平賀東中学校の生徒は屋内へ避難し、同時に市内小・中学校でも同様の訓練を実施しました。戦争の歴史教育について、小学

校では、人々の暮らしにどのような影響を与えたか、中学校では、戦争の背景にあった社会や政治の動き、当時の諸外国の立場、過去の教訓を現代に生かすことなど、歴史の流れや人々の生活の変化を多角的に捉え、未

来に生かす視点を養うことを目的に行っています。

された重点支援地方交付金を活用してどのような事業を実施するのか。交付金以外で独自に物価高対策を行う考えは。

**答** 交付金を活用して共通指定ごみ袋配布事業を実施する予定です。大・中・小の各大きさのごみ袋をセットで全世帯へ送付するものです。これは、令和8年度から始まる津軽地域ごみ処理広域化によるごみの出し方の一部変更の周知も兼ねて実施するものです。市独自の事業について、物価高は国全体の問題であるため、引き続き国の動きを注視していきます。

**議員** 物価高騰対策として交付された重点支援地方交付金を活用してどのような事業を実施するのか。交付金以外で独自に物価高対策を行う考えは。

物価高対策は  
暮らしを守る要

## 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金



中畠 一二美 議員

の方法を検討しましたが、町会を通じた配布方法では、町会末加入世帯に配布することができないこと、また、事務の効率化も勘案した結果、全世帯へプッシュ型で送付するとしています。

**議員** 他市では、商品券事業の郵送料を工夫することで市民への還元を増やした事例もある。職員で知恵を出し合って、事業を検討していただきたい。



一般質問の内容は会議録で読むことができます。

平川市議会会議録

**答** 細は、  
**議員** 経費削減のためにいくつか  
事業費についてなど、詳



# 一般質問

## 共助バス<sup>※2</sup>の運行について

冬季の通学確保に  
向けた見直しを



さいとうりつこ  
齋藤律子 議員

**議員** 蒲田、日沼、新山地区において共助バスの運転員の高齢化により運転員確保が難しいと聞くが現状は。また、下校時の安全確保のためスクールバス運行に切替えるべきではないか。

**答** 共助バスのアンケート調査では非常に満足しているとの意見が大半ですが、保護者からは運転員等としての協力は難しいという内容が多く、人材確保が難しい状況です。

教育委員会では、これまでスクールバス運行は学校の統廃合を契機に実施する方針ですが、共助バス運行の継続が難しい状況を踏まえ、スクールバスの運行が適切であると考えております。しかし、通学に関しては小・中学校に関係するため、各



共助バスの様子

**議員** 登下校困難地域だということは市も認めている。地形上、尾上地域は東西に細長い。蒲田、日沼、新山地区のほか、金屋地区のように距離にしたら遠い地区があるのではないか。今後考へていただきたい。

**答** 公園については、八重桜、ソメイヨシノなど約330本の桜のほか、モミジ、ドウダンツツジ、サツキなど植栽され、周辺の環境と調和した景観を形成しています。池側の植栽は植樹から50年ほど経過し、樹勢の衰えが一部見受けられることから、今年度池を囲む園路沿いに桜を15本植える予定です。

平川市議会YouTubeチャンネル

**答** 平川市猿賀公園エリア観光誘客ビジョンにおいて、公園整

地区の通学状況を整理する必要があります。登下校を取り巻く環境の変化を考慮し、児童生徒の安全安心を最優先に適切に判断してまいります。

**議員** 登下校困難地域だということは市も認めている。地形上、尾上地域は東西に細長い。蒲田、日沼、新山地区のほか、金屋地区のように距離にしたら遠い地区があるのではないか。今後考へていただきたい。

**議員** 風致公園<sup>※3</sup>の特色を生かした植栽について、現在行われている植栽の内容はどのようなものか。

**答** 公園については、八重桜、ソメイヨシノなど約330本の

ツツジ、サツキなど植栽され、周辺の環境と調和した景観を形成しています。池側の植栽は植樹から50年ほど経過し、樹勢の衰えが一部見受けられることから、今年度池を囲む園路沿いに桜を15本植える予定です。

備について市民のニーズに基づき、利用促進に向けた検討を行っています。提案も選択肢に入れ、猿賀公園の特性に合わせた植栽を行っていきます。



猿賀公園噴水広場

四季を感じる  
公園づくりを期待



いし た あきひろ  
石田昭弘 議員

## 猿賀公園エリア基盤整備

※2 共助バスとは

スクールバスが運行されていない西地区（松崎小学校区6町会）と猿賀小学校・尾上中学校に通学する日沼・蒲田・新山地区的児童生徒の安全な通学確保のため、町会や地域運営組織が運行者となって児童生徒を送迎するもの。

※3 風致公園とは

自然の美しい風景や味わいを享受することを目的とした都市公園